

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本ソフトウェア  
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 新川宗平  
 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,475	△10.4	228	△43.8	248	△41.0	59	△71.7
28年3月期第3四半期	2,764	0.9	405	108.3	421	92.8	211	102.2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 174百万円 (5.2%) 28年3月期第3四半期 166百万円 (△20.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	11.91	11.91
28年3月期第3四半期	42.49	42.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	3,669	2,546	68.4	500.24
28年3月期	3,182	2,372	73.7	469.50

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 2,510百万円 28年3月期 2,347百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,100	△15.9	179	△57.9	180	△54.2	131	△39.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	5,076,100 株	28年3月期	5,057,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	58,000 株	28年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	5,014,936 株	28年3月期3Q	4,974,101 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境において緩やかな景気の回復基調が見られるものの、中国経済をはじめとする海外経済の減速や個人消費の停滞、英国のEU離脱問題等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが所属するゲーム業界におきましては、PlayStation VRが平成28年10月に発売を迎え、「仮想現実(VR)」や「拡張現実(AR)」といった新技术を伴った新しいプラットフォームに注目が集まり、ゲーム市場の更なる発展、業界自体の多様化・拡大が続いております。

コンシューマーゲーム業界におきましては、PlayStation VRの発売や、Nintendo Switchの詳細が公表される等、新しいハードウェアの動きが活発化しており、注目を集めております。

オンラインゲーム業界におきましては、ユーザーの位置情報を利用したスマートフォンやタブレット端末向けコンテンツが開発・配信され、従来とは異なるコンテンツに注目が集まっております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、全14タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、PlayStation Network及びSteamを通じてダウンロードコンテンツの配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社が配信するオンラインゲームとのコラボレーションを行ってまいりました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,475,660千円(前年同期比10.4%減)、営業利益228,163千円(前年同期比43.8%減)、経常利益248,378千円(前年同期比41.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益59,729千円(前年同期比71.7%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせて全14タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『ルフランの地下迷宮と魔女ノ旅団』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『真 流行り神2』(PlayStation 3、PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『プリンセスは金の亡者』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)等の6タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Odin Sphere Leifthrasir』(邦題：『オーディンスフィア レイヴスラシル』PlayStation 3、PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Grand Kingdom』(邦題：『グランキングダム』PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『PSYCHO-PASS: Mandatory Happiness』(邦題：『PSYCHO-PASS サイコパス：選択なき幸福』PlayStation 4及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Criminal Girls 2: Party Favors』(邦題：『クリミナルガールズ2』PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Yomawari: Night Alone』(邦題：『夜廻』PlayStation Vita専用ゲームソフト)等の8タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、当社キャラクターグッズの製作・販売をいたしました。また、コミックマーケットにて、他社とコラボレーションしたグッズを特典として配布する等、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,503,604千円、営業利益170,105千円となりました。

#### (オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Network及びSteamを通じてパッケージソフトのダウンロード販売及びダウンロードコンテンツ、カスタムテーマの配信を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高810,131千円、営業利益255,424千円となりました。

#### (ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、『魔界戦記ディスガイア』及び『流行り神』シリーズのキャラクターと他社コンテンツのコラボレーションを行う等、ライセンス提供による収益向上及び当社キャラクターの認知向上を図りました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高61,951千円、営業利益19,437千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat LOVE』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高99,972千円、営業利益989千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,669,497千円となり、前連結会計年度末に比べ487,052千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ179,593千円の減少）、仕掛品の減少（前連結会計年度末に比べ114,073千円の減少）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末に比べ146,779千円の増加）によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ439,796千円の増加）によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,122,909千円となり、前連結会計年度末に比べ313,308千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ30,000千円の増加）、賞与引当金の減少（前連結会計年度末に比べ89,332千円の減少）、売上値引引当金の減少（前連結会計年度末に比べ51,436千円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末に比べ39,633千円の減少）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ431,668千円の増加）、退職給付に係る負債の増加（前連結会計年度末に比べ5,769千円の増加）によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,546,588千円となり、前連結会計年度末に比べ173,743千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末に比べ67,235千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末に比べ47,901千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績見通しにつきましては、第4四半期連結会計期間の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、平成28年3月期決算短信（平成28年5月13日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,993	917,400
受取手形及び売掛金	194,397	236,200
有価証券	53,329	—
商品及び製品	49,927	196,706
仕掛品	321,734	207,660
繰延税金資産	65,579	67,797
その他	119,930	333,617
貸倒引当金	△2,300	△2,300
流動資産合計	1,899,591	1,957,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	278,683	270,721
機械装置及び運搬具(純額)	2,333	1,424
土地	214,495	214,495
その他(純額)	32,497	31,733
有形固定資産合計	528,010	518,374
無形固定資産	26,840	27,123
投資その他の資産		
投資有価証券	701,354	1,141,151
その他	26,649	25,766
投資その他の資産合計	728,003	1,166,917
固定資産合計	1,282,854	1,712,415
資産合計	3,182,445	3,669,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	113,222	132,446
短期借入金	110,000	140,000
未払金	112,186	93,399
未払法人税等	45,292	5,659
賞与引当金	122,462	33,129
売上値引引当金	197,366	145,930
その他	66,798	91,414
流動負債合計	767,328	641,979
固定負債		
退職給付に係る負債	21,472	27,241
長期借入金	—	431,668
その他	20,799	22,020
固定負債合計	42,272	480,930
負債合計	809,601	1,122,909
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	524,177	525,840
資本剰余金	514,177	515,840
利益剰余金	1,282,318	1,327,050
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,303,802	2,351,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,121	4,113
為替換算調整勘定	106,402	154,304
その他の包括利益累計額合計	43,281	158,418
新株予約権	25,760	36,309
純資産合計	2,372,844	2,546,588
負債純資産合計	3,182,445	3,669,497



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,764,360	2,475,660
売上原価	1,392,246	1,279,910
売上総利益	1,372,114	1,195,749
販売費及び一般管理費	966,198	967,586
営業利益	405,915	228,163
営業外収益		
受取利息	16,522	31,896
受取配当金	3,312	147
その他	1,758	8,743
営業外収益合計	21,593	40,787
営業外費用		
支払利息	630	2,476
為替差損	4,206	16,702
投資事業組合運用損	593	454
その他	885	938
営業外費用合計	6,316	20,571
経常利益	421,192	248,378
特別利益		
投資有価証券売却益	331	—
投資有価証券償還益	6,074	10,788
特別利益合計	6,405	10,788
特別損失		
固定資産除却損	172	—
投資有価証券売却損	17,977	—
投資有価証券評価損	—	74,427
特別損失合計	18,150	74,427
税金等調整前四半期純利益	409,448	184,739
法人税等	198,101	125,009
四半期純利益	211,347	59,729
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,347	59,729

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	211,347	59,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,386	67,235
為替換算調整勘定	1,276	47,901
その他の包括利益合計	△45,110	115,137
四半期包括利益	166,237	174,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,237	174,866
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,935,927	672,079	57,986	98,367	2,764,360	—	2,764,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,935,927	672,079	57,986	98,367	2,764,360	—	2,764,360
セグメント利益又は損失(△)	255,013	354,883	40,786	△5,491	645,192	(239,276)	405,915

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額239,276千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,503,604	810,131	61,951	99,972	2,475,660	—	2,475,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,503,604	810,131	61,951	99,972	2,475,660	—	2,475,660
セグメント利益又は損失(△)	170,105	255,424	19,437	989	445,957	(217,794)	228,163

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額217,794千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。